



長野労働局発表

(24-29)

平成 24 年 8 月 31 日

担 当	職業安定部職業安定課	
	課 長	春 原 和 衛
	課長補佐	湯 澤 高 康
	労働市場情報官	竹 村 典 幸
	電話	026-226-0865
	Fax	026-226-0157

最 近 の 雇 用 情 勢 (平成 24 年 7 月分)

長野労働局(局長 本川 明)は、平成 24 年 7 月分の県内の雇用情勢をとりまとめました。

- 平成 24 年 7 月の有効求人倍率(季節調整値)は 0.81 倍となり、前月に比べ 0.02 ポイント下回った。
- 有効求人数(季節調整値)は 34,431 人で前月に比べ 2.1%減少し、有効求職者数(同)は 42,402 人で前月に比べ 0.1%増加した。

- 7 月の新規求人数(実数値)は 13,219 人となり、前年同月比で 2.4%増加した。
産業別(大分類)にみると、前年同月比で、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、不動産・物品賃貸業などの産業で増加した一方、製造業、情報通信業、医療・福祉などの産業で減少した。
- 7 月の新規求職者数(実数値)は 8,849 人となり、前年同月比で 0.8%増加した。
新規常用求職者(6,120 人)のうち、「事業主都合離職者」は 1,092 人となり、前年同月比で 0.5%減少した。
- 7 月の就職件数は 3,793 件となり、前年同月比で 2.4%増加した。
このうち、常用就職件数は 2,053 件となり、前年同月比で 2.2%増加した。パートタイム就職件数は 1,544 件となり、前年同月比で 7.4%増加した。

雇用情勢は、
依然として厳しい状況にあり、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

(注) 「有効求人倍率」とは、月間有効求人数(前月から当月へ繰り越された求人数と当月受理した求人数の合計)を月間有効求職者数(前月から当月へ繰り越された求職者数と当月受理した求職者数の合計)で割ったもの。

最近の雇用情勢

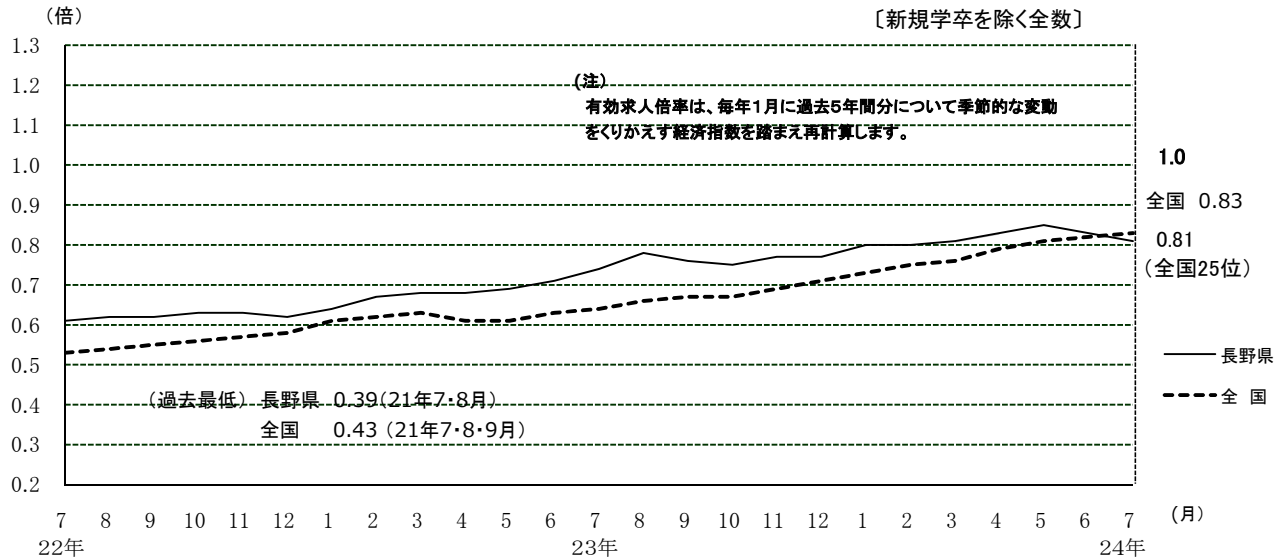
〔平成24年7月分〕

1 求人・求職の状況

① 有効求人倍率(季節調整値)の推移

平成24年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.81倍となり前月を0.02ポイント下回った。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
最近年	0.74	0.78	0.76	0.75	0.77	0.77	0.80	0.80	0.81	0.83	0.85	0.83	0.81
前年	0.61	0.62	0.62	0.63	0.63	0.62	0.64	0.67	0.68	0.68	0.69	0.71	0.74



※ 月間有効求人・求職(季節調整値)の推移

	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
月間有効 求人数	33,030	34,254	33,461	32,932	33,387	33,017	34,354	34,525	34,133	34,878	35,885	35,163	34,431
月間有効 求職者数	44,431	44,073	43,912	43,800	43,534	42,874	42,877	42,912	42,217	41,794	42,302	42,377	42,402

② 地域別有効求人倍率(実数値:以下同じ)

7月の有効求人倍率を地域別に見ると、県内4ブロックで前年同月を上回った。また、安定所別では、須坂所を除いて前年同月を上回った。

〔新規学卒を除く全数〕

地域別 (前年比 ポイント) 《前月》	北 信 0.86 (0.08) 《0.82》				東 信 0.84 (0.07) 《0.76》		中 信 0.74 (0.07) 《0.70》			南 信 0.71 (0.06) 《0.69》		
職安別	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曽福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全数	0.91	0.75	0.97	0.84	0.71	0.98	0.74	0.76	0.76	0.71	0.64	0.78
《前月》	《0.83》	《0.77》	《0.88》	《0.82》	《0.64》	《0.89》	《0.70》	《0.72》	《0.70》	《0.70》	《0.62》	《0.74》
(前年比 ポイント)	(0.08)	(0.06)	(0.27)	(▲0.03)	(0.05)	(0.11)	(0.06)	(0.09)	(0.13)	(0.11)	(0.02)	(0.06)
うち常用	0.82	0.70	0.83	0.77	0.63	0.88	0.65	0.70	0.63	0.65	0.52	0.70
《前月》	《0.78》	《0.71》	《0.79》	《0.76》	《0.58》	《0.83》	《0.62》	《0.68》	《0.61》	《0.64》	《0.51》	《0.68》
(前年比 ポイント)	(0.06)	(0.05)	(0.24)	(0.00)	(0.07)	(0.09)	(0.03)	(0.16)	(0.11)	(0.12)	(0.04)	(0.09)

*「うち常用」とはパート常用を含み、臨時・季節を除く。

③ 新規求人数の推移

7月の新規求人数は、前年同月比で2.4%増加した。うち常用では0.5%、うちパートでは7.9%増加した。

年月	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 数 (前年比)	12,904 (16.0)	13,548 (23.6)	13,507 (13.5)	13,930 (12.2)	13,255 (23.5)	11,229 (21.5)	13,800 (15.5)	14,352 (13.7)	14,398 (13.7)	12,726 (10.3)	12,905 (15.1)	13,007 (▲0.8)	13,219 (2.4)
うち常用 (前年比)	6,983 (18.1)	6,818 (18.4)	7,305 (15.2)	6,897 (13.9)	6,788 (23.6)	6,192 (27.8)	7,564 (17.6)	7,789 (12.8)	7,685 (10.1)	6,995 (7.2)	6,688 (13.6)	6,775 (▲3.8)	7,020 (0.5)
うちパート (前年比)	4,720 (8.1)	5,213 (12.7)	5,189 (15.3)	5,144 (▲1.6)	5,024 (22.5)	4,011 (15.3)	4,939 (4.1)	5,684 (13.8)	5,663 (15.8)	4,880 (16.1)	5,427 (19.1)	5,330 (6.5)	5,093 (7.9)
常用のうち正社員 (前年比)	4,682 (14.5)	4,607 (20.9)	5,025 (16.8)	4,727 (11.3)	4,646 (21.8)	4,408 (23.1)	4,941 (10.7)	4,739 (8.6)	5,209 (12.6)	4,676 (5.9)	4,555 (9.0)	4,598 (▲3.0)	4,855 (3.7)
全数に占める 正社員の割合	36.3	34.0	37.2	33.9	35.1	39.3	35.8	33.0	36.2	36.7	35.3	35.4	36.7

※全数には臨時・季節を含み、うち常用はパートを含まない。

④ 産業別新規求人の方況

7月の産業別(大分類)の新規求人数は、前年同月比で、「運輸業・郵便業」、「卸売業・小売業」、「不動産・物品賃貸業」などの産業で増加した一方、「製造業」、「情報通信業」、「医療・福祉」などの産業で減少した。

産 業 別	新規求人数 (人)	前月比 (%)	前年比 (%)	産 業 別	新規求人数 (人)	前月比 (%)	前年比 (%)
全 数	13,219 (5,093)	1.6 (▲4.4)	2.4 (7.9)	G 情報通信業	225 (47)	24.3 (▲24.2)	▲15.4 (▲30.9)
D 建設業	945 (66)	▲12.3 (▲56.9)	2.2 (▲36.5)	H 運輸業・郵便業	728 (255)	▲8.8 (▲5.9)	19.3 (18.6)
E 製造業	1,624 (530)	▲15.1 (▲9.6)	▲13.7 (▲2.9)	I 卸売業・小売業	1,903 (1,071)	14.2 (14.8)	25.1 (29.0)
09・10 食料品・飲料・ たばこ	509 (274)	9.9 (▲10.7)	29.5 (23.4)	J 金融業・保険業	204 (7)	83.8 (▲63.2)	68.6 (▲41.7)
14 パルプ・紙・紙加工	16 (4)	▲23.8 (▲20.0)	▲63.6 (300.0)	K 不動産・物品賃貸業	145 (62)	▲20.3 (▲12.7)	15.1 (34.8)
15 印刷関連	31 (10)	▲6.1 (▲41.2)	▲13.9 (▲23.1)	M 宿泊業・飲食 サービス業	1,177 (771)	▲7.2 (▲4.3)	▲1.3 (6.2)
18 プラスチック製品	74 (29)	12.1 (38.1)	▲17.8 (3.6)	76 飲食店	678 (490)	4.5 (0.0)	▲3.1 (4.0)
24 金属製品	130 (25)	▲7.8 (▲3.8)	▲24.9 (▲28.6)	N 生活関連サービス 業・娯楽業	586 (300)	▲10.3 (▲21.5)	▲8.3 (▲10.7)
25 はん用機械器具	105 (25)	▲5.4 (92.3)	8.2 (78.6)	78 洗濯・理容・美 容・浴場業	255 (134)	▲5.6 (24.1)	▲21.8 (▲17.8)
26 生産用機械器具	83 (19)	▲18.6 (58.3)	▲18.6 (▲9.5)	O 教育・学習支援業	287 (198)	15.3 (36.6)	7.1 (▲2.0)
27 業務用機械器具	72 (12)	▲78.4 (▲61.3)	▲39.5 (▲14.3)	P 医療・福祉	2,099 (778)	12.0 (▲4.9)	▲7.9 (▲4.1)
28 電子部品・デバイ ス・電子回路	162 (38)	▲8.0 (▲2.6)	▲39.8 (▲26.9)	85 社会保険・社会 福祉・介護事業	1,149 (458)	5.4 (▲19.9)	▲18.8 (▲7.1)
29 電気機械器具	124 (23)	11.7 (▲4.2)	▲23.5 (0.0)	R サービス業(他に分 類されないもの)	2,315 (599)	5.9 (▲9.9)	0.5 (10.3)
30 情報通信機械器具	66 (19)	▲23.3 (▲36.7)	▲26.7 (▲62.0)	91 職業紹介・ 労働者派遣業	1,073 (93)	13.1 (24.0)	▲3.5 (13.4)
31 輸送用機械器具	96 (25)	20.0 (78.6)	▲30.4 (▲37.5)	そ の 他 の 産 業	981 (409)	15.4 (▲2.4)	26.9 (45.6)

()はパートで内数

注) 「その他の産業」には、A 農・林業、B 漁業、C 鉱業、F 電気・ガス・熱供給・水道業、L 学術研究・専門技
術サービス業、Q 複合サービス事業、S 公務、T 分類不能の産業を含みます。

⑤ 新規求職者の推移

7月の新規求職者数は前年同月比で0.8%増加した。うち常用では1.7%増加し、うちパートでは1.5%減少した。

年月	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全数	8,783	9,836	9,991	10,167	9,634	9,118	11,547	11,059	11,364	13,329	11,078	9,498	8,849
(前年比)	(▲6.0)	(5.0)	(▲3.5)	(2.8)	(▲0.7)	(▲2.2)	(▲0.7)	(▲0.4)	(▲10.6)	(▲11.1)	(▲2.8)	(▲11.2)	(0.8)
うち常用	6,018	6,686	6,698	6,714	6,149	5,268	7,293	7,511	7,550	8,140	6,993	6,200	6,120
(前年比)	(▲6.8)	(3.7)	(▲2.7)	(1.5)	(▲0.3)	(▲0.8)	(0.2)	(▲2.5)	(▲12.5)	(▲12.2)	(▲2.6)	(▲12.0)	(1.7)
うちパート	2,748	3,131	3,266	3,392	3,018	2,400	3,615	3,473	3,651	4,931	4,006	3,269	2,706
(前年比)	(▲4.6)	(7.7)	(▲5.9)	(4.6)	(1.3)	(3.0)	(▲2.8)	(4.7)	(▲4.5)	(▲8.7)	(▲2.4)	(▲9.8)	(▲1.5)

※ 全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

⑥ 新規常用求職者の態様別状況

7月の新規常用求職者の状況を態様別にみると、前年同月比で在職者は12.2%、離職者は1.7%増加し、無業者は20.2%の減少となった。

年月	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
常用求職者	6,018	6,686	6,698	6,714	6,149	5,268	7,293	7,511	7,550	8,140	6,993	6,200	6,120
(前年比)	(▲6.8)	(3.7)	(▲2.7)	(1.5)	(▲0.3)	(▲0.8)	(0.2)	(▲2.5)	(▲12.5)	(▲12.2)	(▲2.6)	(▲12.0)	(1.7)
在職者	1,695	2,018	2,033	1,779	1,794	1,510	2,386	2,748	2,523	1,842	1,970	1,940	1,902
(前年比)	(1.9)	(8.8)	(7.3)	(1.2)	(8.3)	(3.9)	(10.9)	(6.5)	(▲0.9)	(▲6.6)	(8.1)	(▲2.1)	(12.2)
離職者	3,508	3,754	3,796	4,091	3,552	3,141	4,072	3,878	3,820	5,317	4,217	3,534	3,568
(前年比)	(▲16.4)	(▲5.6)	(▲10.6)	(▲2.1)	(▲5.2)	(1.2)	(▲1.1)	(8.4)	(▲14.0)	(▲10.1)	(▲2.0)	(▲8.9)	(1.7)
定年	183	123	152	188	155	163	207	190	206	489	228	170	179
(前年比)	(▲15.7)	(▲22.2)	(▲22.4)	(▲5.1)	(▲2.5)	(3.2)	(7.8)	(23.4)	(0.0)	(12.7)	(15.7)	(31.8)	(▲2.2)
事業主都合	1,097	1,115	1,130	1,304	1,065	1,137	1,230	1,230	1,116	1,821	1,203	1,047	1,092
(前年比)	(▲24.2)	(▲16.8)	(▲16.7)	(▲2.8)	(▲18.1)	(▲2.2)	(▲8.2)	(11.8)	(▲27.1)	(▲17.9)	(▲13.8)	(▲15.6)	(▲0.5)
自己都合	2,087	2,345	2,347	2,427	2,171	1,716	2,464	2,246	2,313	2,845	2,598	2,154	2,162
(前年比)	(▲11.8)	(0.8)	(▲7.5)	(▲1.5)	(2.6)	(4.3)	(2.3)	(4.2)	(▲6.7)	(▲5.4)	(3.7)	(▲7.3)	(3.6)
無業者	815	914	869	844	803	617	835	885	1,207	981	806	726	650
(前年比)	(36.3)	(47.4)	(17.6)	(23.8)	(4.6)	(▲18.2)	(▲17.2)	(▲42.7)	(▲26.4)	(▲29.4)	(▲23.1)	(▲38.8)	(▲20.2)

※ 離職者は、「前職雇用者」と「前職自営、その他」(表中では省略)に分けられる。

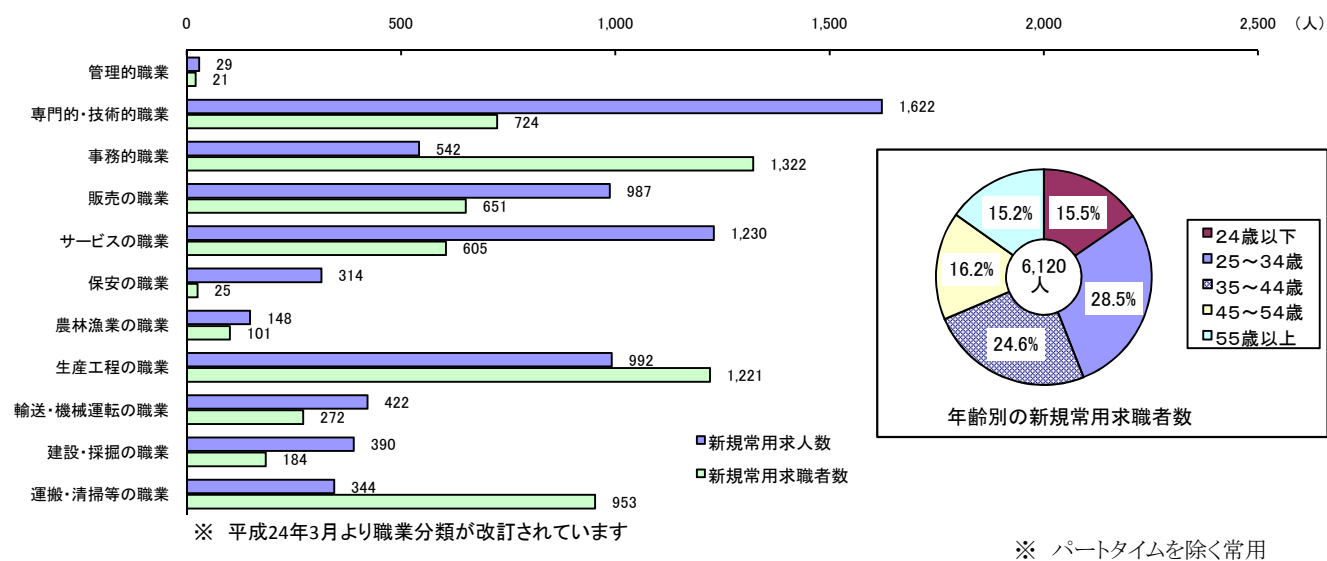
「前職雇用者」は、離職理由別に「定年」「事業主都合」「自己都合」「不明」(表中では省略)に区分される。

このため内訳の計と離職者数欄の数値は一致しない。

※ 無業者とは、家事、育児等従事者及び離職後1年を超えて求職活動をしていない者をいう。

⑦ 職業別の新規常用求人・求職、年齢別の新規常用求職の状況

7月の新規求人・求職者数を職業別に対比してみると、「専門的・技術的職業」、「販売の職業」、「サービスの職業」などで求人数が求職者数を上回った。一方で、「事務的職業」、「生産工程の職業」、「運搬・清掃等の職業」では求職者数が求人数を上回った。



⑧ 月間有効求人・求職の推移

7月の月間有効求人数は前年同月比で5.3%増加し、月間有効求職者数は3.9%減少した。

年月	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
月間有効 求人数 (前年比)	31,999 (22.0)	33,951 (24.4)	34,648 (20.2)	34,967 (17.0)	35,282 (20.5)	32,272 (19.9)	33,409 (22.0)	35,005 (17.1)	36,406 (12.8)	34,003 (15.8)	33,574 (18.5)	33,296 (9.0)	33,698 (5.3)
月間有効 求職者数 (前年比)	44,521 (▲0.8)	42,837 (▲0.4)	42,010 (▲2.1)	42,067 (▲0.9)	41,381 (▲1.5)	39,968 (▲3.2)	41,038 (▲3.2)	42,028 (▲3.2)	44,374 (▲5.4)	45,873 (▲6.4)	46,300 (▲4.3)	44,661 (▲6.6)	42,788 (▲3.9)

※ パートタイム、臨時・季節を含む全数

2 就職の状況

7月の就職件数は、前年同月比で2.4%増加した。うち常用で2.2%、うちパートは7.4%増加した。

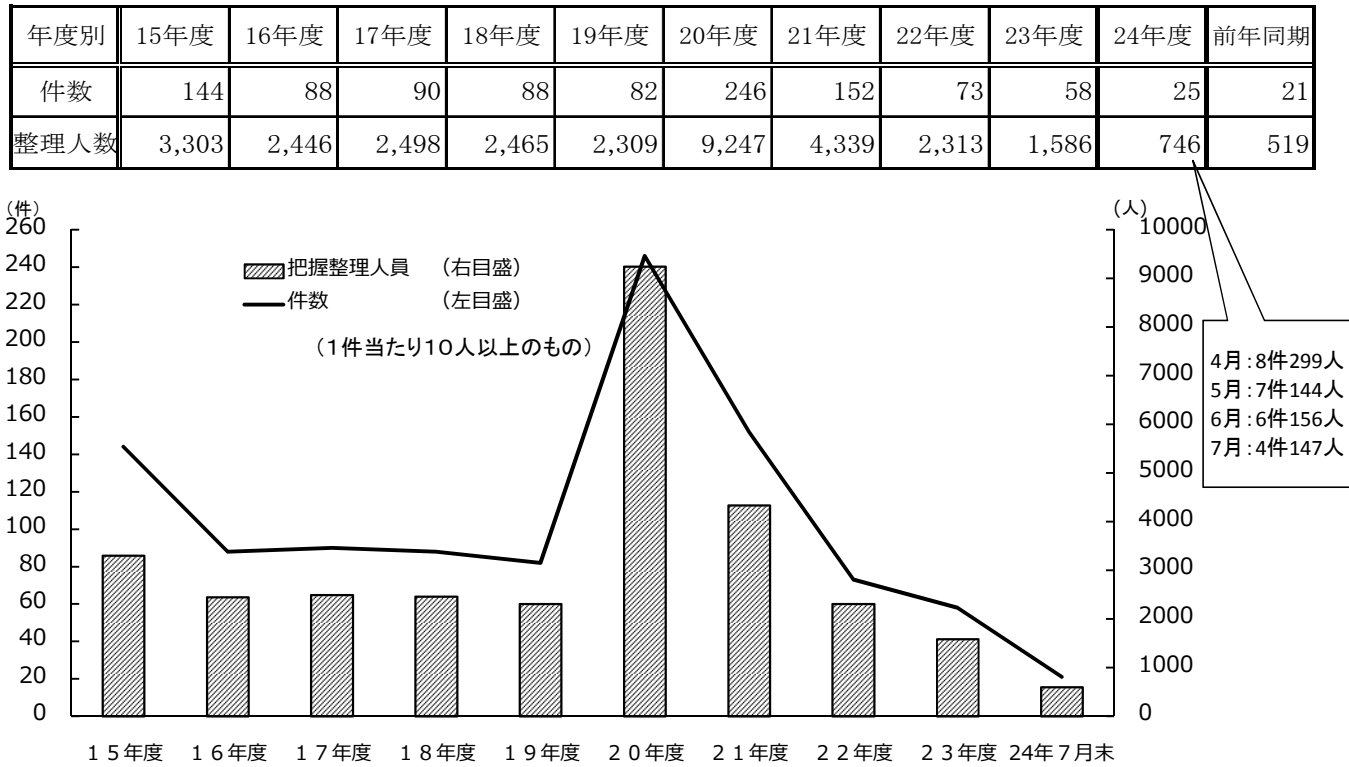
年月	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全数 (前年比)	3,704 (1.8)	3,774 (18.1)	3,890 (7.9)	3,819 (6.9)	3,723 (10.7)	3,380 (12.3)	3,062 (16.6)	3,565 (11.2)	5,239 (▲0.9)	4,013 (▲3.4)	4,035 (9.8)	4,046 (0.1)	3,793 (2.4)
うち常用 (前年比)	2,009 (0.0)	2,175 (22.7)	2,177 (6.9)	2,127 (10.0)	2,062 (13.1)	1,650 (10.6)	1,657 (19.0)	1,868 (3.5)	3,015 (▲5.7)	2,182 (▲5.9)	2,108 (3.1)	2,187 (0.1)	2,053 (2.2)
うちパート (前年比)	1,438 (2.1)	1,396 (13.2)	1,523 (4.7)	1,447 (2.1)	1,427 (5.5)	1,209 (17.6)	1,030 (▲0.6)	1,480 (24.6)	1,905 (12.6)	1,578 (7.1)	1,803 (28.5)	1,689 (5.2)	1,544 (7.4)

※ 全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

3 人員整理の把握状況

7月中に把握した1件あたり10人以上の人員整理(予定を含む)は、4件(147人)であった。
事業主都合による離職は757人で、前年同月を18.5%上回った。

①10人以上の人員整理把握状況の年度別推移(但し、平成24年度は7月までの累計)



② 事業主都合による離職の推移 (雇用保険の被保険者資格喪失データ)

年月	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
人数	639	767	733	835	534	703	646	582	746	1,409	706	634	757
(前年比)	(▲25.8)	(▲24.1)	(7.8)	(11.5)	(▲6.0)	(▲11.3)	(▲4.6)	(▲21.0)	(▲22.5)	(▲55.8)	(▲32.6)	(▲6.9)	(18.5)

※ 特例被保険者(季節)を除く

(参考) 雇用保険の適用事業所・被保険者・失業等給付受給者の状況

適用事業所数は平成12年9月以降連続して前年同月を下回っている。被保険者数は29ヶ月連続で前年同月を上回った。失業等給付(基本手当)の受給者は、前年同月を3.4%下回った。

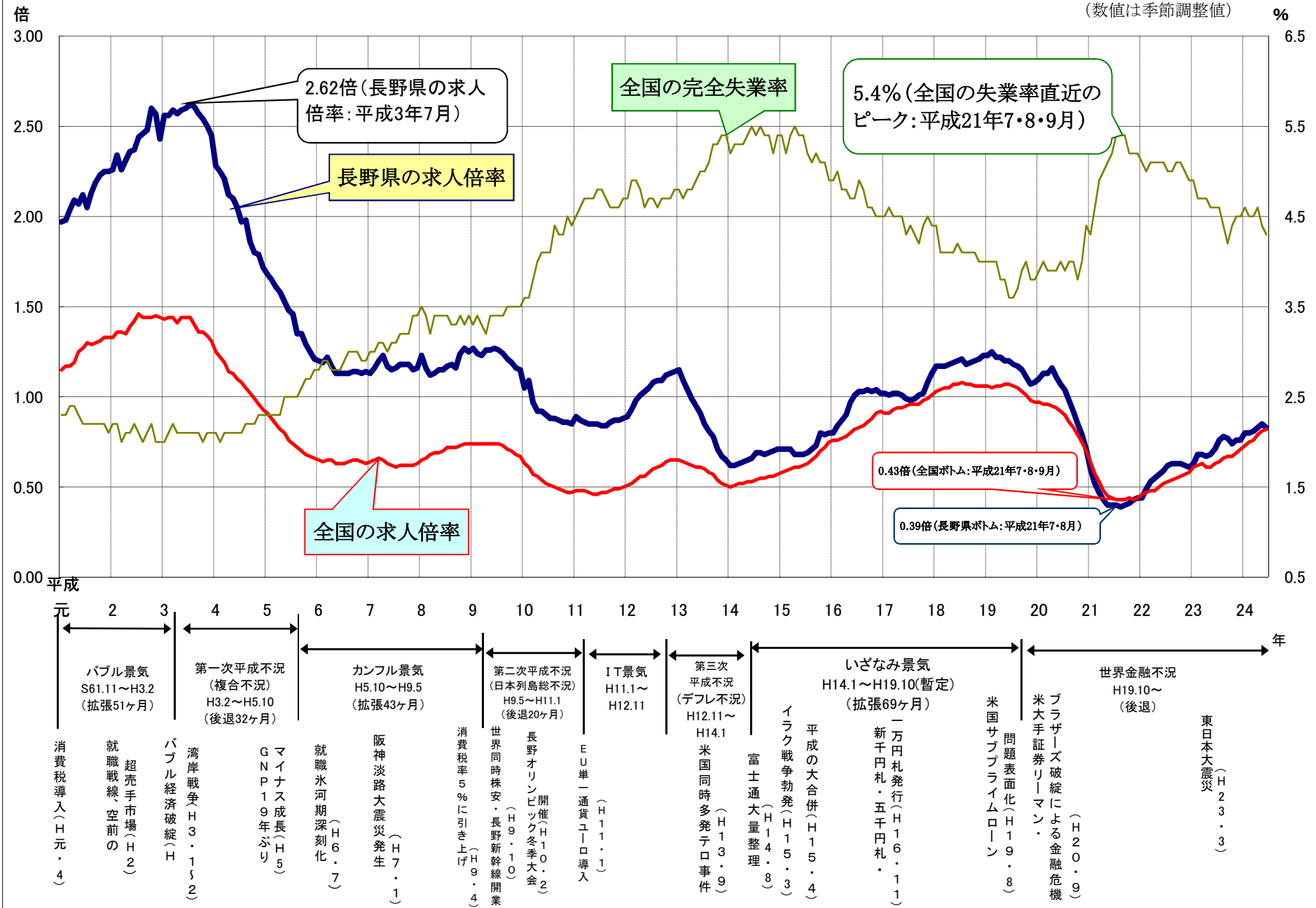
年月	23年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
事業所 月末現在数 (前年比)	37,070 (▲0.4)	37,074 (▲0.4)	36,885 (▲0.4)	36,895 (▲0.3)	36,907 (▲0.3)	36,924 (▲0.4)	36,953 (▲0.4)	36,960 (▲0.3)	36,969 (▲0.4)	36,912 (▲0.4)	36,922 (▲0.3)	36,946 (▲0.3)	36,958 (▲0.3)
資格取得数	7,388	7,018	6,493	7,244	7,616	6,130	6,203	5,664	7,001	19,736	14,025	7,296	6,963
資格喪失数	6,789	6,862	6,608	8,198	7,172	7,544	7,915	6,148	7,541	17,625	8,408	6,493	7,098
被保険者 月末現在数 (前年比)	585,048 (0.5)	585,051 (0.5)	584,932 (0.6)	583,792 (0.5)	584,034 (0.5)	582,595 (0.4)	580,929 (0.4)	580,317 (0.4)	579,758 (0.3)	580,987 (0.4)	586,413 (0.5)	587,153 (0.4)	586,930 (0.3)
基本手当 受給者実人数 (前年比)	11,436 (▲7.8)	11,392 (▲4.5)	10,622 (▲6.0)	10,175 (▲4.1)	9,883 (▲3.3)	9,524 (▲4.7)	9,532 (▲2.9)	9,508 (0.2)	9,367 (▲3.8)	9,318 (▲5.9)	10,959 (2.2)	10,619 (▲7.7)	11,049 (▲3.4)

次回発表日 平成24年9月28日(金)

有効求人倍率・完全失業率の推移(平成24年7月分まで)

(長野労働局職業安定部)

(数値は季節調整値)



有効求人倍率・完全失業率の推移（平成元年～）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均	年度平均	景気の状態	トピックス
平成元年	1.97 1.15 2.3	1.98 1.17 2.3	2.04 1.17 2.4	2.09 1.19 2.4	2.07 1.25 2.3	2.12 1.27 2.2	2.05 1.30 2.2	2.13 1.29 2.2	2.19 1.30 2.2	2.23 1.31 2.2	2.25 1.33 2.2	2.25 1.33 2.1	2.11 1.25 2.3	2.19 1.30 2.2	バブル景気	消費税導入(4月)
平成2年 (1990)	2.26 1.33 2.2	2.34 1.36 2.2	2.26 1.36 2.0	2.31 1.35 2.1	2.36 1.39 2.1	2.37 1.42 2.2	2.44 1.46 2.1	2.46 1.44 2.0	2.48 1.44 2.1	2.60 1.44 2.2	2.57 1.45 2.0	2.43 1.44 2.0	2.40 1.40 2.1	2.48 1.43 2.1		就職戦線、空前の超売り市場
平成3年 (1991)	2.56 1.43 2.0	2.56 1.44 2.1	2.59 1.44 2.2	2.57 1.41 2.1	2.59 1.44 2.1	2.60 1.44 2.1	2.62 1.44 2.1	2.61 1.40 2.1	2.57 1.36 2.1	2.54 1.36 2.0	2.50 1.34 2.1	2.45 1.31 2.1	2.56 1.40 2.1	2.48 1.34 2.1	第一次平成不況 (H3.2)	バブル経済破綻 湾岸戦争(1～2月)
平成4年 (1992)	2.28 1.25 2.1	2.25 1.22 2.0	2.21 1.19 2.1	2.12 1.14 2.1	2.10 1.13 2.1	2.05 1.10 2.1	1.97 1.08 2.1	1.98 1.05 2.2	1.86 1.02 2.2	1.80 0.99 2.2	1.79 0.96 2.3	1.72 0.93 2.3	2.00 1.08 2.2	1.85 1.00 2.2		
平成5年 (1993)	1.68 0.91 2.3	1.65 0.88 2.3	1.61 0.85 2.3	1.58 0.82 2.3	1.53 0.80 2.5	1.48 0.76 2.5	1.46 0.74 2.5	1.35 0.72 2.5	1.35 0.70 2.6	1.29 0.68 2.7	1.25 0.67 2.7	1.21 0.66 2.8	1.45 0.76 2.5	1.34 0.71 2.6	カンフル景気(H5.10)	GNP19年ぶりのマイナス成長
平成6年 (1994)	1.20 0.65 2.8	1.19 0.64 2.9	1.22 0.65 2.9	1.17 0.65 2.8	1.13 0.63 2.8	1.13 0.63 2.8	1.13 0.63 2.9	1.13 0.64 3.0	1.14 0.65 3.0	1.14 0.65 3.0	1.13 0.64 2.9	1.14 0.63 2.9	1.16 0.64 2.9	1.15 0.64 2.9		就職氷河期深刻化
平成7年 (1995)	1.13 0.64 3.0	1.16 0.65 3.0	1.20 0.66 3.1	1.23 0.65 3.1	1.17 0.63 3.0	1.15 0.62 3.1	1.16 0.62 3.1	1.18 0.62 3.2	1.18 0.62 3.2	1.18 0.62 3.2	1.15 0.62 3.4	1.16 0.63 3.4	1.17 0.63 3.2	1.18 0.64 3.2		阪神淡路大震災発生(1月)
平成8年 (1996)	1.23 0.65 3.5	1.16 0.66 3.4	1.12 0.68 3.2	1.13 0.69 3.4	1.15 0.69 3.4	1.15 0.70 3.4	1.17 0.72 3.4	1.18 0.72 3.3	1.16 0.72 3.3	1.24 0.73 3.4	1.27 0.74 3.3	1.25 0.74 3.4	1.19 0.70 3.4	1.21 0.72 3.3		
平成9年 (1997)	1.27 0.74 3.3	1.24 0.74 3.4	1.23 0.74 3.3	1.26 0.74 3.2	1.26 0.74 3.4	1.27 0.74 3.4	1.26 0.74 3.4	1.24 0.73 3.4	1.21 0.71 3.5	1.19 0.70 3.5	1.16 0.68 3.5	1.15 0.67 3.5	1.23 0.72 3.4	1.17 0.69 3.5	第二次平成不況 (H9.5)	消費税率5%に引上げ(4月) 長野新幹線開業(10月) 世界同時株安(10月)
平成10年 (1998)	1.05 0.63 3.6	1.09 0.61 3.6	0.97 0.57 3.8	0.92 0.56 4.0	0.92 0.54 4.1	0.90 0.52 4.1	0.88 0.51 4.1	0.88 0.50 4.4	0.87 0.49 4.3	0.86 0.48 4.3	0.86 0.47 4.5	0.85 0.47 4.4	0.92 0.53 4.1	0.88 0.50 4.3		長野オリンピック冬季大会開催(2月)
平成11年 (1999)	0.89 0.48 4.5	0.87 0.48 4.6	0.86 0.48 4.7	0.85 0.47 4.7	0.85 0.46 4.7	0.85 0.46 4.8	0.84 0.47 4.8	0.84 0.47 4.7	0.86 0.48 4.6	0.87 0.49 4.6	0.87 0.49 4.6	0.88 0.50 4.7	0.86 0.48 4.7	0.88 0.49 4.7	IT景気(H11.1)	EU単一通貨ユーロ導入(1月)
平成12年 (2000)	0.89 0.51 4.7	0.93 0.52 4.9	0.98 0.54 4.9	1.01 0.56 4.8	1.03 0.56 4.6	1.05 0.58 4.7	1.08 0.60 4.7	1.09 0.61 4.6	1.09 0.62 4.7	1.12 0.64 4.7	1.13 0.65 4.7	1.14 0.65 4.8	1.04 0.59 4.7	1.08 0.62 4.7	第三次平成不況 (H12.11)	
平成13年 (2001)	1.15 0.65 4.8	1.09 0.64 4.7	1.04 0.63 4.8	0.99 0.62 4.8	0.95 0.61 4.9	0.91 0.61 5.0	0.85 0.60 5.0	0.81 0.58 5.1	0.78 0.57 5.3	0.71 0.54 5.3	0.67 0.52 5.4	0.65 0.51 5.4	0.87 0.59 5.0	0.76 0.56 5.2		米国同時多発テロ事件(9月)
平成14年 (2002)	0.62 0.50 5.2	0.62 0.51 5.3	0.63 0.52 5.3	0.64 0.52 5.3	0.65 0.53 5.4	0.66 0.53 5.5	0.69 0.54 5.5	0.69 0.55 5.4	0.68 0.55 5.4	0.69 0.56 5.4	0.70 0.56 5.2	0.71 0.57 5.4	0.66 0.54 5.4	0.69 0.56 5.4	いざなぎ景気(H14.1)	富士通大量人員整理(8月)
平成15年 (2003)	0.71 0.58 5.4	0.71 0.59 5.2	0.71 0.60 5.4	0.68 0.61 5.5	0.68 0.61 5.4	0.68 0.62 5.4	0.69 0.63 5.2	0.69 0.65 5.1	0.73 0.67 5.2	0.80 0.70 5.1	0.79 0.72 5.1	0.80 0.75 4.9	0.72 0.64 5.3	0.75 0.69 5.1		イラク戦争勃発(3月) 平成の大合併(4月)
平成16年 (2004)	0.80 0.76 4.9	0.84 0.76 5.0	0.87 0.77 4.8	0.90 0.78 4.8	0.97 0.80 4.7	1.01 0.82 4.7	1.03 0.83 4.9	1.03 0.84 4.8	1.04 0.86 4.6	1.03 0.88 4.6	1.04 0.91 4.5	1.02 0.92 4.5	0.96 0.83 4.7	1.01 0.86 4.6		新千円札、五千円札、一万円札発行(11月)
平成17年 (2005)	1.02 0.91 4.5	1.01 0.91 4.6	1.02 0.93 4.5	1.02 0.94 4.5	1.01 0.94 4.5	0.99 0.95 4.3	0.98 0.96 4.4	0.99 0.96 4.3	1.01 0.96 4.2	1.02 0.98 4.4	1.08 0.99 4.5	1.13 1.01 4.4	1.02 0.95 4.4	1.06 0.98 4.3		
平成18年 (2006)	1.17 1.03 4.4	1.17 1.04 4.1	1.17 1.05 4.1	1.18 1.05 4.1	1.19 1.07 4.1	1.20 1.07 4.2	1.21 1.08 4.1	1.18 1.07 4.1	1.19 1.07 4.1	1.20 1.06 4.1	1.21 1.06 4.0	1.23 1.06 4.0	1.19 1.06 4.1	1.21 1.06 4.1		
平成19年 (2007)	1.23 1.06 4.0	1.25 1.05 4.0	1.22 1.05 4.0	1.22 1.07 3.8	1.21 1.07 3.8	1.20 1.07 3.6	1.17 1.06 3.7	1.17 1.05 3.9	1.15 1.03 3.9	1.11 1.01 4.0	1.07 0.98 3.8	1.09 0.98 3.8	1.18 1.04 3.9	1.14 1.02 3.8	世界金融不況 (H19.10)	米国サブプライムローン問題表面化(8月)
平成20年 (2008)	1.10 0.97 3.9	1.12 0.95 4.0	1.13 0.96 3.9	1.16 0.96 3.9	1.12 0.95 3.9	1.07 0.92 4.0	1.03 0.90 3.9	0.98 0.87 4.0	0.92 0.83 4.0	0.85 0.79 3.8	0.79 0.75 4.0	0.72 0.71 4.4	0.99 0.88 4.0	0.82 0.77 4.1		大手証券・リーマンブラザーズ破綻による金融危機(9月)
平成21年 (2009)	0.60 0.64 4.3	0.51 0.57 4.6	0.47 0.52 4.9	0.43 0.49 5.0	0.41 0.46 5.1	0.40 0.44 5.2	0.39 0.43 5.4	0.39 0.43 5.4	0.40 0.43 5.4	0.41 0.44 5.2	0.43 0.44 5.2	0.45 0.44 5.2	0.44 0.47 5.1	0.43 0.45 5.2		
平成22年 (2010)	0.45 0.45 5.1	0.49 0.46 5.0	0.52 0.48 5.1	0.55 0.49 5.1	0.58 0.50 5.1	0.59 0.52 5.1	0.61 0.53 5.0	0.62 0.54 5.0	0.62 0.55 5.1	0.63 0.56 5.1	0.63 0.57 5.0	0.62 0.58 4.9	0.57 0.52 5.1	0.62 0.56 5.0		
平成23年 (2011)	0.64 0.60 4.9	0.67 0.61 4.7	0.68 0.62 4.7	0.68 0.62 4.7	0.69 0.62 4.6	0.71 0.63 4.6	0.74 0.65 4.6	0.78 0.66 4.4	0.76 0.67 4.2	0.75 0.68 4.4	0.77 0.69 4.5	0.77 0.71 4.5	0.72 0.65 4.5	0.75 0.68 4.5		東日本大震災(3月)
平成24年 (2012)	0.80 0.73 4.6	0.80 0.75 4.5	0.81 0.76 4.5	0.83 0.79 4.6	0.85 0.81 4.4	0.83 0.82 4.3	0.81 0.83 4.3									
平成25年 (2013)																

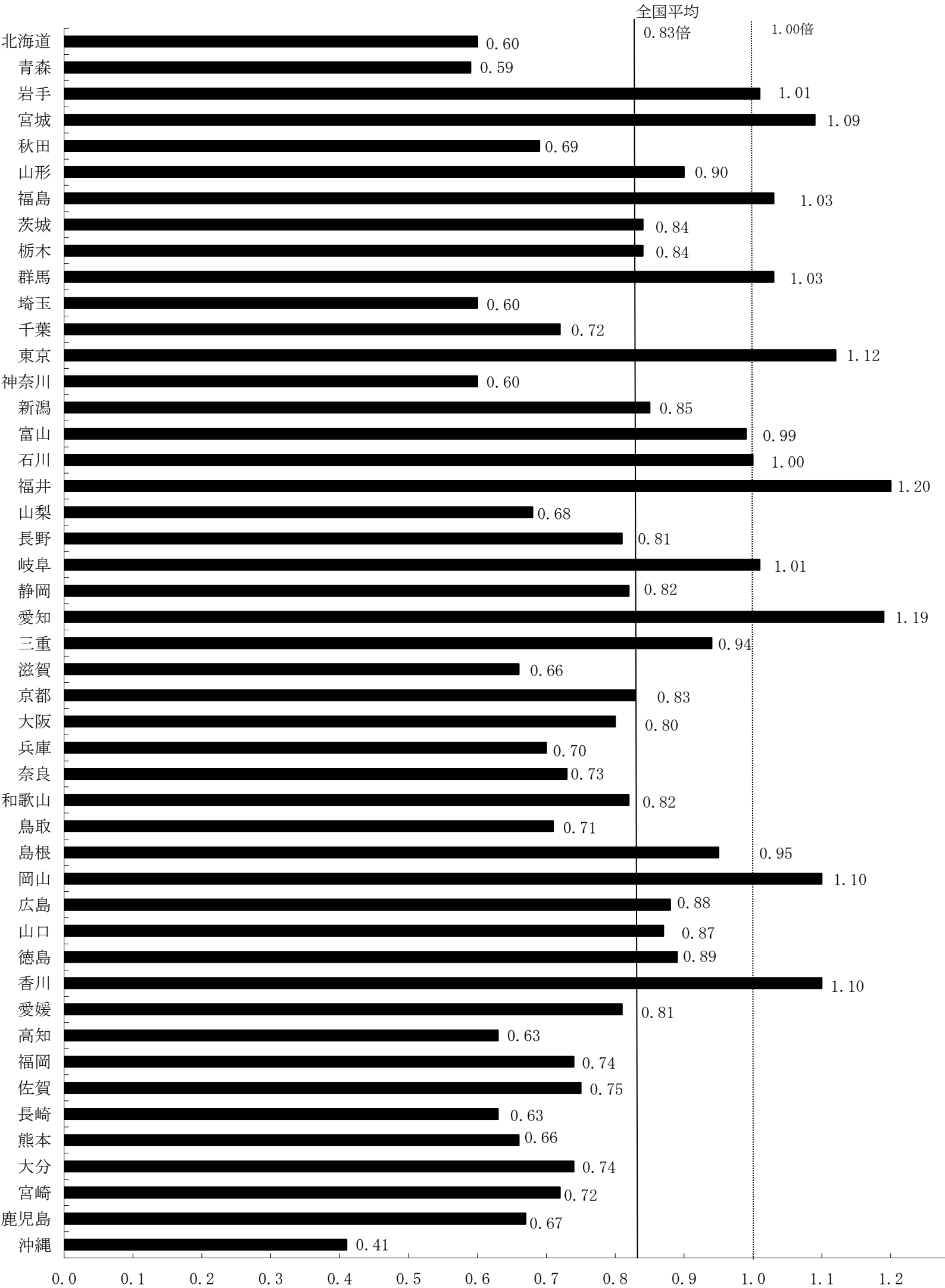
(注) 1. 上段:長野県有効求人倍率(倍)、中段:全国有効求人倍率(倍)、下段:完全失業率(%)

2. 月別の数値は季節調整値であり、年・年度平均は実数である。

3. 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

4. 完全失業率(%)は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国数値である。

都道府県別有効求人倍率：季節調整値
(新規学卒者を除きパートタイムを含む)
平成24年7月 全国平均0.83倍 [原数値0.77倍]



(注) 季節調整値計算(季節調整値替え)は、毎年過去1年分のデータが揃う年初に行われ、季節調整済系列が改訂される。
(資料出所) 厚生労働省「職業安定業務統計」